

第9回商工総研セミナー(ZOOMオンラインセミナー)

中小企業のリスクマネジメント

—熊本の経験を活かして—

2025年2月7日(金) 14:00-16:00

参加
無料

企業にとって、自然災害は予測できない一方で、適切なリスクマネジメントにより、その影響を最小限に抑えることができます。本セミナーでは、災害からの復興に焦点を当て、実践的な対策と効果的なリスクマネジメントの方法を学びます。熊本で地震・水害の被害から復興した事例をもとに、中小企業が災害に強くなるための知識とスキルを提供いたします。ご参加をお待ちしております。

主催者挨拶 14:00-14:05

第一部 14:05-14:25

専門は中小企業経営論、生産システム論。熊本学園大学助教授、兵庫県立大学教授等を経て、2019年より現職。博士(経営学)。日本のものづくり産業における中堅・中小企業の存立基盤や競争力に関する研究、地域中小企業を基軸とした新産業創出、地域経済活性化に関する研究等に取り組んでいる。著書:「サプライチェーンのリスクマネジメントと組織能力:熊本地震における「ものづくり企業」の生産復旧に学ぶ」(2018年9月)(共著、事業継続推進機構BCAOアワード2019年度普及貢献賞)など多数。

西岡 正氏

立命館大学
経営学部教授



第二部 14:25-15:00

1949年創業の飲食サービス業。1980年代に釜飯主体の定食スタイルから会席料理へと転換し、現在は熊本の郷土料理を提供する県内の有名和食店。2016年熊本地震の際には、本館と別館の2棟での営業、熊本城本丸御殿内の食事提供や熊本市市民病院の食堂運営が被災の影響で営業できない状態となった。しかしながら倉橋氏はすぐに再開に向けて動き出し、震災から1カ月後には部分的に営業を再開した。また、従業員の雇用を守り、仮店舗での営業を続けながら建物の再建に着手した。店舗は2020年5月に新築オープン、直前のコロナ禍もさまざまな工夫で乗り越えてきた。

倉橋 篤氏

有限会社青柳
代表取締役社長



第三部 15:00-15:35

当社は1947年創業のスチール家具のメーカー。耐震・耐火性に優れた製品を製作し、国立国会図書館、国立博物館、大学図書館などに書架・収蔵庫を納めている。2016年熊本地震の被災経験を活かし、「想定外」を「想定内」に変えて製品開発に取り組んでいる。田中氏は2009年10月に金剛の代表取締役社長に就任し、2021年5月には一般社団法人熊本県工業連合会代表理事会長に就任。以降、半導体受託製造世界最大手「台湾積体回路製造」(TSMC)の新工場誘致・建設を受けて産官学を通じた受け入れ態勢づくりに奔走している。

田中 稔彦氏

金剛株式会社
代表取締役



質疑応答 15:40-16:00

参加申込



左記QRコードまたは商工総合研究所ホームページにアクセスし参加申込をしてください。
<https://www.shokosoken.or.jp> 「商工総研セミナー」をクリック

- ・定員になり次第、参加申込を終了させていただきます(定員500名を予定)。
- ・パソコン等の設備環境により、ご視聴できない場合があります。
- ・ご記入いただいたお客様の個人情報、本講演会に関する事務手続きに利用いたします。また、今後、当財団からのご案内に使用させていただく場合があります。
- ・開始時間等は変更になる場合がありますのでご了承ください。

主催:一般財団法人商工総合研究所

後援:独立行政法人中小企業基盤整備機構、商工中金、商工中金全国ユース会